

「与位の洞門」



与位の洞門

山崎町神野地区の国道二十九号を一宮町方面に向かうと、田井と杉ヶ瀬に架かる井ヶ瀬橋にさしかかります。

橋の上から左斜め前方に目をやると、揖保川の対岸にそそり立つ岩塊の根元に穿たれた与位の洞門が姿を現します。

この辺りは揖保川に沿って宍粟の北部に向う際の交通の難所で、所々に「ほき」と呼ばれる断崖が河岸に迫って通行を阻むとともに、一方で雅趣に富む景観を見せています。

江戸時代には、田井と杉ヶ瀬の間に渡し舟が置かれ、「神戸八景」のうちの「杉瀬渡船」として和歌にも詠まれています。

大正十二年（一九二三）に発行さ

れた『兵庫県宍粟郡誌』には、「下岨の奇巖」として次のように記されています。

「神野村田井より与位に至る途、揖保川の清流山脚を洗う処に二箇の巨巖あり。其の形頗る奇なり。巖頭には老松枝を伸べて空に翻り、断崖數十尋、羊歯岩松の類これに叢生し、下部は碧潭に臨みて倒映の景奇絶なり。もと栈橋を架して風致を添えたりしが、今は隧道を穿ちて奇弥々加われり。」

このように洞門が穿たれる以前は、川に面して栈橋が架けられていました。下の洞門の東口にある石造地藏尊の台石には、「橋願主高尾多右衛門／宝暦二申年（一七五二）と刻まれ、この頃には栈橋が架けられていたものと思われます。

近世山崎俳壇の第一人者と称される青蓮寺の四睡庵素練が、寛政四年



栈橋をかけるために穿たれた穴

（二七九二）に行われた句会の記録を編んだ『俳諧三音鳥』に、「（与位栈道）かけはしや霞をそゆる裾もや（よ）う 亀有」とあり、その奇勝は広く知れ渡っていました。今も川に面した岩塊の壁面には、栈橋の腕木を差し込んだ四角い穴が残されています。しかしながら、岩肌に貼り付くような狭い栈橋を渡るには多くの危険が伴ったであろうことを想像するに難くありません。また、荒天の度に栈橋が落ちていたとも伝えられています。

この巨岩を穿って隧道を通す工事が行われたのは、明治時代後半期になってからのことでした。

昭和二十七年（一九五二）、神野村発行の『本村の実情に即した全村教育』によれば、「明治三十年（一八九七）遂に岩石を穿ち洞門し隧道を開通せり。」とあり、従来伝えられていたよりも早くに隧道が掘削されていたようです。

その後、昭和の初年には荷車が通れるように拡張され、さらに昭和四十三年（一九六八）には大型の自動車が行き来できるように改修されました。昭和六〇年（一九八五）には、旧山崎町の文化財に指定され、合併後も宍粟市指定文化財（名勝）として引き継がれています。

（参考資料は本文に掲げたものの以外に、『山崎町史』、『一宮町史』ほか。）

社会教育文化財課

編集後記

いよいよ夏本番。私の家の近くでも、毎朝ラジオ体操の軽快な音楽と子どもたちの笑い声が聞こえ、朝から元気になります。さて、最近ニュースなどでも大きく取り上げられているスマートフォン向けゲーム「ポケモン GO」。町を歩いていると、幅広い年齢層のポケモンマスターたちが新種のポケモンを求めて歩き回っています。ポケモン探しも楽しいですが、ケータイの液晶画面ばかり見て夏が終わってしまうのはもったいない！ 8月は市内各地で開かれるイベントが盛りだくさんです！ぜひ、家族や友だちとの思い出づくりに出かけましょう。

小

広報しろう 8月号

平成28年8月12日発行(137号)

発行／宍粟市 編集／企画総務部秘書広報課 〒671-2593 兵庫県宍粟市山崎町中広瀬 133-6

☎ 0790-63-3000 (代) FAX 0790-63-3061 (代) ✉ info@city.shiso.lg.jp 🌐 http://www.city.shiso.lg.jp



この広報紙は環境保護のため、植物油インキと古紙再生紙を使用しています。